

市民のみなさんと市長が直接対話

まちづくり懇談会



市では、平成23～24年度に、市民のみなさんと市長が直接対話する「まちづくり懇談会」を住民自治組織と協働で開催します。

7月～9月には、市内3地区で懇談会を開催しました。

懇談会では、市民が主役のまちづくりを目指して、市長から市民のみなさんに市政の概要を説明・報告するとともに、地域のみなさんの声を聴き、より多くのご意見を行政に反映できるように取り組みます。

懇談会でいただいたご意見の一部を紹介します。

7/29開催

忠海第3地区協働のまちづくりネットワーク

防災マップの作成と災害時の要援護者支援

防災部会では、自主防災マップを作成している。また、災害時の要援護者支援のため、

小坂 政司 市長



3地区でのまちづくり懇談会を終えて……

それぞれの住民自治組織が、部会を立ち上げ、地域課題に向けて様々な取り組みを行っておられることに感謝しています。今回の懇談会では、対話を通して、市民のみなさんの頼もしさを肌で実感し、まちづくりを進めるうえで、心強く感じました。

今後も、「自助・共助・公助」の視点で、市民と行政が一体となって取り組むことで、さらに、まちづくりが充実していくと考えています。

答

防災については、現地を知恵を出してもらうことが必要です。

今回の震災を契機に、国や県でも地震、津波の被害想定の見直しが進められています。竹原市においても、新たな「津波ハザードマップ」の作成に、地域の人と一緒に考えています。



また、市では、民生委員・

児童委員の活動で「災害時一人も見逃さない運動」を実施し、高齢者等の見守りを行っていますが、民生委員だけでは足りない部分を補っていかねばならないと考えています。

市としては、「災害有事の際には、個人情報より命が大事」という思いから、課題（個人情報の取扱い）を踏まえながら、取組みを進める必要があると考えています。当然、地域のみならずとも共有しなければならいので、そのあり方について話をしながら進めていきます。

通学時の安全確保

通学時の安全確保のため、旧道や通学路のパトロールを強化し、街路灯の増設を行ってほしい。

答

通学時の見守りボランティアの人は大変感謝しています。

忠海西小学校への通学路については、道路の拡張や待避所の設置を行っています。今後は待避所を2か所、順次設置する計画です。街路灯については、街路灯設置事業で補

助金があり、助成制度を活用していただければと考えています。

現在、「子ども110番の家」等で協力いただいています。今できること、将来しなければならぬことなど、協議の場を設けて前進する方法を検討したいと考えています。

8/18開催

竹原第3地区協働のまちづくりネットワーク

憧憬の路の協働での進め方

答

今後、憧憬の路を協働でどのように進めていくのか。竹原第3地区では、昨年度より大きな事業計画を立てている。ぜひ実行委員会にも参加したい。

憧憬の路は、保存地区のロケーションを活かした竹灯りの情緒あるイベントとなっています。

昨年、竹原第3地区協働のまちづくりネットワークが製作された照蓮寺前でのライトアップは幻想的で、また、イベントへ参加していただいたことに、大変感謝しています。

答

歴史的な景観が守り活かされているのは、住民のみなさんのご理解・ご協力を得ているからであり、他市からの評価も高く、感謝しています。

町並み保存地区は、歴史のある地域で市の大きな財産であるため、保存・活用の視点で力を入れていきます。

町並み保存地区のゲートエリアに「道の駅たけはら」を整備したことで、活用・観光面で非常に効果があると考えています。

市では、「竹原市歴史的風致維持向上計画」の策定に取り組み、計画認定後、国・県の支援策等を受けながら、更なる整備、充実のための仕組みづくりを進めていきたいと考えています。



忠海第3地区
協働のまちづくりネットワーク
会長 大本 貴志さん

まちづくり懇談会を終えて……

まず、今回の懇談会で、地域の人と情報を共有できたことが大変良かったです。会場では、的を射た意見も出ました。

これから、他の地区でも懇談会が開催されると思いますが、まちづくりをもっと発展させていくためには、行政との連携プレイが大切です。この懇談会は、その第一歩であると感じました。



竹原第3地区
協働のまちづくりネットワーク
会長 岡田 文夫さん

まちづくり懇談会を終えて……

市長と直接話す機会を得て、行政の方針を聞くことができ、良かったと思います。

まちづくりを進めていくためには、地域課題を整理し、地域ができること、行政にお願いしたいことなど互いの役割を考えていくことが必要です。そのためにも、今後も市の考え方を積極的に発信してもらいたいです。

町並み保存地区の今後のあり方

竹原第3地区のたけはら憧憬の路実行委員会への参加は、第1回の実行委員会がすでに開催されているので、調整は必要ですが、参加していただける状況をつくりたいと考えています。

市道上市・田中線の幅員

上市・田中線で幅員4m以下の箇所が約120m程度あり、最近、車の通行量も増えていて危険である。交通標識の設置を地域で検討していく中で、今後の対策を聞きたい。

答

市では、現在、竹原西幼稚園西側の架橋工事に着手しており、完成後は車両の分散化が図れるものと考えています。現在できることと将来的なことも含めながら、事業を進めていきます。



9/5開催

大井・宿根地区協働のまちづくり協議会

天池の環境整備

平成20～22年度の浚渫工事以前と比べ天池がきれいになったが、今の貯水容量で台風等の災害時、耐えうるのか心配である。引き続き浚渫工事を行ってほしい。

答

地域のみなさんによる草刈りや土手沿いの芝桜保全などで、天池の環境が良くなってきていることに感謝



大井・宿根地区
協働のまちづくり協議会
会長 稲葉 忠彦さん

まちづくり懇談会を終えて……

私たちの地区では、環境に関しては長年の課題があります。今回の懇談会では、天池の整備などについて、行政の考え方を聞くことができました。

懇談会実施に当たっては、地域のみなさんや行政と打ち合わせをしながら、協力的に実施することができました。当日も地域のみなさんにご参加いただき、感謝しています。



答

遺跡に関しては、大学等の学術機関、市の文化財保護委員会、県の教育委員会等と相談しながら、保存と活用とのバランスを考えて、調査・研究をしていきます。

遺跡の表示看板は、地域のみなさんに木製で手作り感のあるものを作っていたいていますが、永久保存できない面もあるので、他の文化財と同じ石製の表示看板を今年度中に建てさせていただきます。また、朝日山、東永谷製鉄遺跡、宿根の大桜など、大井・宿根の誇れる自然資源について

東永谷製鉄遺跡の保存と宿根の大桜など観光資源の活用

遺跡の保存・活用をどのように考えているか。また、宿根の大桜、朝日山、東永谷製鉄遺跡を組み合わせ、市の観光資源としてほしい。

住民自治組織の今後

では、点でなく面でPRできるように、協働を進めていきたいと考えています。

行政の助言を聞きながら、他の組織とは一味違う活動が3年間でできつつあると感じている。住民自治組織の今後のあり方をどのように考えているか。

答

住民が主役となって、知恵と工夫を出し、よい良い地域をつくっていくことが、これからの地方自治体の姿であり、住民自治組織と市のパートナーシップは、今後より深くなっていくと考えています。

地域をより良くするため、住民自治組織の中で優先順位をつけて地域の課題を挙げていただき、市もそれに対応していくべきと考えています。

いただいたご意見への回答と補足説明については、懇談会後に順次、各住民自治組織にお返ししています。

他地区の懇談会の開催日は、決まりしだい、ホームページ等でお知らせします。